

タイムテーブル

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	秋田県民会館 大ホール	アトリオン 4F 音楽ホール	アトリオン 3F 展示室	アトリオン B1F 多目的ホール	にぎわい交流館AU 3F 多目的ホール
収容人数	1,740席	700席	195席	195席	280席
8:00	8:00~ 開場・受付				8:00~ 開場・受付
9:00	8:50~9:00 開会セレモニー		8:30~ 開場・受付		
9:00	9:00~9:45 大会長講演 ケアする私を育む 一見で、感じて、考える 嘉藤 茂・石川千夏 ●丹羽 誠 ◆249				
10:00	10:00~10:50 特別講演 1 いのちの向き合いかた 袴田俊英 ●嘉藤 茂 ◆257	10:00~11:55 シンポジウム 1 ケアする私を客観視する ために 水保健一 栢谷優子 小川弘美 岸本寛史 ●林 章敏 ●久山幸恵 ◆284	10:00~11:00 事例検討 1 「最期くらい好きにしたい、 でも娘のため諦める」 —終末期の意思決定支援に難決 した事例を通して— 下里麻梨子 ●足立誠司、久保山千鶴 ◆308	10:00~11:00 事例検討 2 宗教観を尊重した意思決 定支援—鎮静中止を希望した 妻への関わり 中村由美 ●吉田 晋 ●蜂谷博子 ◆309	10:00~11:55 シンポジウム 2 地域で支え、地域で看取 る 秋山正子 黒田美智子 大石春美 太田宣承 ●星野 彰 ●高橋美保 ◆288
11:00	11:05~11:55 特別講演 2 バーンアウトの肯定的考察 久保真人 ●石川千夏 ◆258		11:15~12:15 事例検討 3 「痛い」と大声で呼び続 けた自閉症・知的障害のある 終末期がん患者へのケア 原 淳子 ●高宮有介、岩崎紀久子 ◆310	11:15~12:15 事例検討 4 長期在宅介護から入所介護と なった超高齢男性の訪問診療 —やっぱり家に帰りたい 湯川英機 ●矢津 剛、松本京子 ◆311	共催：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 ◆288
12:00	12:10~12:55 セミナー1 最後まで目一杯生きる 萬田緑平 ●山本 亮 共催：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 ◆276	12:10~12:55 セミナー2 チーム内の信念対立にど う向き合うか 岡本拓也 ●松尾直樹 ◆277			12:10~12:55 セミナー3 がんになった親とその子 もへのサポートの実際 大沢かおり ●小松崎香 ◆278
13:00	13:10~14:10 総会および特別講演 【特別講演】レジリエン スとスピリチュアリティ 山崎章郎 ●三枝好幸				
14:00	14:25~15:15 主題講演 I-1 死の臨床と出合い、 その魅力 柏本哲夫 ●恒藤 暁 ◆251	14:25~15:15 講演 1 第2次ターミナル・ケア —麻酔科出身の緩和医療医とし ての歩みから— 山室 誠 ●中保利通 ◆270	14:25~15:25 事例検討 5 症状緩和の薬剤を拒否し、 鎮静を希望した患者との 関わりについての検討 鈴木 梢 ●四十坊克也 ●武石優子 ◆312	14:25~15:25 事例検討 6 家族や医療者に怒りをぶ つける若い乳がん患者 —ケアの不全感を感じた1事例— 林 良彦 ●大嶋健三郎 ●伊藤登茂子 ◆313	14:25~15:15 講演 2 日本人の死生観にふさわ しいケアとは カール・ベッカー ●谷山洋三 ◆271
15:00	15:30~16:20 主題講演 I-2 私のケア観が育まれたブ ロセス 季羽優文子 ●松島たつ子 ◆252	15:30~17:25 シンポジウム 4 ケアにおける限界の認識 をめぐって 三木浩司 小野芳子 安保博文 藤井理恵 ●橋本 誠 ●日浦あつ子 ◆296	15:40~17:10 特別事例検討 1 医療者としてではなく、 人として考えさせられた 頭頸部腫瘍の1事例 —人生をまっとうする苦悩と現 実の間で— 吉武 淳 ●西村幸祐 ●石口房子 ◆320	15:40~17:10 特別事例検討 2 「すべてが抜けて体がな くなってしまふ」という 不安と孤独の中、亡くな った思春期男児に必要な ったこと 佐藤博美 ●池永昌之 ●川村三希子 ◆321	15:30~17:25 シンポジウム 5 知ってください、用いて くださいMSW 関根知嘉子 福地智巴 横山幸生 塩田剛士 ●玉井照枝 ●橘 直子 ◆300
16:00	16:35~17:25 主題講演 I-3 健全な自己肯定感をもつ ために 石垣靖子 ●木村祐輔 ◆253				共催：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 ◆300
17:00					
18:00					

第6会場	ポスター会場	懇親会会場	竿燈演技会場
にぎわい交流館AU 2F 展示ホール	アトリオン 2F 美術展示ホール	秋田キャッスルホテル 放光の間	にぎわい広場
292席	—	—	—
8:00~ 開場・受付	8:30~ 開場・受付		
	9:00~11:00 ポスター受付・貼付		
10:00~11:55 シンポジウム3	◆225		
緩和ケア病棟から在宅へ ケアの場の設定変更で見えて きたもの 下倉賢士 蛭田みどり 家田秀明 山岡憲夫 ●小枝淳一 ●中山康子 共催：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 ◆292	11:00~16:20 ポスター展示		
12:10~12:55 セミナー4			
ホスピスボランティア 20年の実践 寺永守男 ●清水千世 ◆279			
14:25~15:15 講演3			
ケアする人のグリーフケア —燃え尽きないために 廣瀬寛子 ●門林道子 ◆272			
15:30~17:25 震災関連企画	◆222		
継続的に支援すること —東日本大震災後から 岩渕正之 金田諦應 田巻知宏 笹原留似子 ●末永和之 ●長澤昌子 ◆266	16:20~17:20 ポスター討議 ◆322		
			17:40~18:00 竿燈演技
		18:15~20:15 懇親会 ◆223	

●は座長・司会 ◆は抄録掲載ページ